







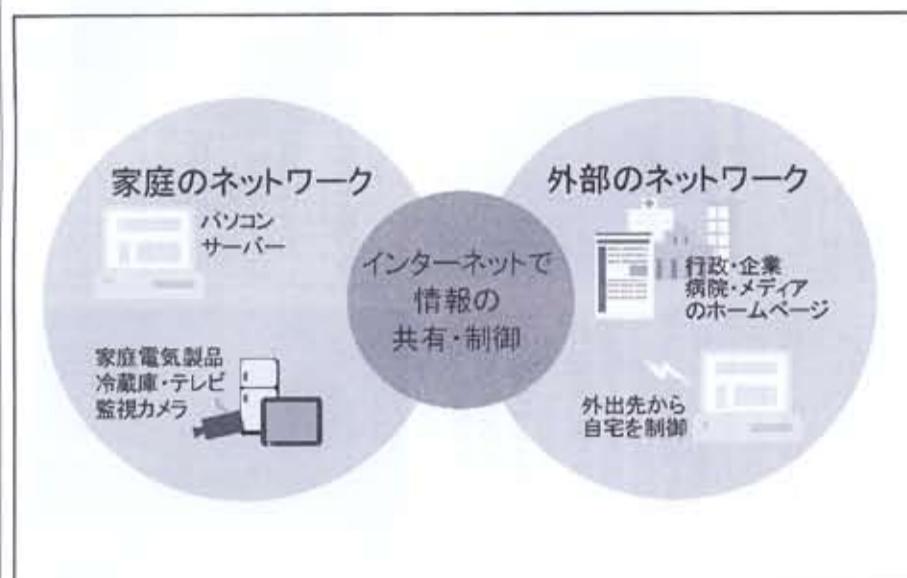
ただし今の時点ではネット機能搭載によつて価格が高くなる、別売の専用パソコンが必要になる、さらに家庭の電気配線を用いるなど各メーカーの製品間に今とのころ互換性が無い等々の問題が残つています。差し当たりこれらは消費者にとっての大きな障害となるでしょう。

そして家電のネットワーク化が普及する前提として、通信網の整備の問題も挙げねばなりませんが、インターネットの利用が日常化すると、接続される機器を識別するための「IPアドレス」が決定的に不足することが予想されます。その対策もいま真剣に取り上げられつつあるのです。

ネットワーク化は  
家電にまで

インターネートへの接続機能をもつた家電が発売され、外出先からの遠隔操作が可能になる日が近づきました。

このことを次に述べる次  
世代インターネットのプロ  
トコルに見てみましょう。



◇ひとこと著題でコミュニケーションを ◇

## How To Ask People to REPEAT?

-もう一度言ってもらうには-

会話の途中で相手の言ったことがわからなかつた、理解できなかつた場合など、それをそのままうやむやにしておくと、それが大きな誤解の元となつて、後々取り返しのつかないことになつてしまふこともあります。

そんなときはすかさず「Excuse me?」  
尻上がり調で特に“cuse”に力を入れます。  
あるいは「I am sorry?」「I'm sorry?」  
「Pardon me?」「Pardon?」などを使うといいでしょう。  
親しくなった友人の前などカジュアルな表現を使ってよい場合は  
「Sorry?」「What was that?」などもよいでしょう。

しかし、どんなに親しい間柄でも「Please once more!」「Please once again!」や「What?」などと聞き返すのは大変無作法で、失礼なことです。  
(※日本人は割と使ってしまいそうなこれらの表現ですが、実際のところはあまり使用されていなかったり、仮に使われていたとしてもこれらは非常に失礼な表現となるため、使わないほうが良いでしょう。)

フォーマルな状況では「Excuse me?」に付け加えて「I am afraid I did not hear (what) you said!」。あるいは「I beg your pardon?」などを使うと、より丁寧な表現となります。

ちょっとした表現が相手に誤解を生み、それが混乱を招くこともあります。せめてこちらが聞き返すときだけは誤解を招かない様にしたいものです。

### 川越街道「上使行列」の再現

地域情報

### 「妙音沢」の斜面林

- 新座市を流れる黒目川に沿った「妙音沢」は、広さ3.2ヘクタール、毎分約3トンもの湧き水が流れる二つの沢で、数百種もの植物が自生している。サワガニも棲息する。この沢の貴重な自然を守るために、斜面林の防災工事がきっかけとなって、天然記念物に指定されるよう埼玉県に対して市民の署名運動がはじまった。

呼び掛けは「新座の自然とくらしを守る市民の会」。世話人は所沢中央高校の初見祐一先生。

伝統文化を体験学習する施設として広大な日本庭園が  
11月新座市にオープン

電気事業の経営者として著名だった故・松永安左エ門氏が茶道を楽しんだ別荘「睡足軒(すいそくけん)」は平林寺前の通りを挟んだ境内林の中に所在、戦後平林寺に寄贈されたが、これを新座市が借用して整備する計画がまとまった。

敷地は新座市役所にも近く、こちらの健康のために、また地域の交流、国際交流にも役立つ貴重な施設として期待される。

#### ◀市民プレス登録のことば▶

暮らしやすい地域を創るために本紙は  
次のテーマに取り組みます。  
市民の方々の取材を通して  
皆様と共に考えます

- 市民と行政が情報を共有するために
  - 市民の公共参加を考える
    - 住民の暮らしを

本紙を編集・発行する母体として  
特定非営利活動法人NPOを  
設立いたしました